

## 第39回 奈良県高等学校人権教育研究大会報告校一覧

<b>第1分科会    ゆたかな教育内容の創造</b>	
A分散会	
報  告	平城高校
	「本校の人権教育と車椅子介助体験学習の取り組み」 1年次の障がい者問題（奈良県障害者運転者協会の協力）を中心とする人権HRの取り組みを報告する。
報  告	山辺高校
	「人権・生活体験作文発表会の取りくみについて」 本校では、夏休みの課題である、人権・生活体験作文の発表会を2学期中ごろに実施している。総合学科と小規模校という本校の特色のもと、この取りくみが生徒理解に果たしている役割と、昨年作文発表を行った、支援を要する生徒の様子について発表する。
B分散会	
報  告	山辺高校 山添分校
	「自分を好きになるために～本校の実践例～」 ・分校生の実態について    ・基礎学力の向上に向けての学校裁量時間の活用について ・各科（農業科・家政科）、各学年での取り組みについて
報  告	帝塚山高校
	「情報モラル教育の新たな取り組み」 ・携帯電話等に関わるアンケートから見える、生徒たちの置かれている状況の報告 ・視聴覚教材を用いた情報モラルHRの報告
C分散会	
報  告	生駒高校
	「地域と共に一かざぐるま実習を中心に」 本校に隣接してある施設“かざぐるま”との交流について、実習を中心に報告する。
報  告	智辯学園高校
	「アスペルガー症候群の生徒と関わって」 報告者が3年間担任をしたアスペルガー症候群の生徒について、在学中の関わりあい方や卒業後の状況などについて報告する。

## 第2分科会 生きる力と進路保障

報 告	二階堂高校
	「Brush Up Time の取組」 本校ではSHR前の10分間、基礎学習の取組（Brush Up Time）を毎朝実施している。 学習習慣の確立と基礎学力の充実を目的とした取組であるが、この取組を通して、生徒たちの自己管理能力、コミュニケーション能力も少しずつ身につけてきている。 取組の成果と今後の課題を報告する。
	青翔高校
	「特別支援教育の取組—生徒との関わりの中で—」 発達障害のある生徒を学校体制で支援してきた。その取組を校内において、また地域、専門機関との連携において報告したい。

## 第3分科会 生徒の姿と自主活動

報 告	添上高校
	「三年間の歩み」 解放研部員、三年間の取り組みの報告。
	天理高校
	「幼少年指導班の活動～社会行動適応ゲーム（プログラム）を中心に～」 本校求道部幼少年指導班は、天理教教義に基づいた部活動であり、さまざまな所へ訪問し、劇やゲームを展開している。 今回は本部（班）の紹介と、我々が取り組んでいる社会行動適応ゲーム（プログラム）の紹介を、HRなどで扱えるよう紹介したい。